

令和5年度 大学活性化経費 事業成果報告書

事業区分 (6) その他、大学の活性化に貢献する取り組み

申請組織 キャリア育成センター

申請組織長 役職名 キャリア育成センター長 氏名 吉田 あけみ

統括責任者 役職名 国際コミュニケーション学部 氏名 水島 和則

課題名 SUGIYAMA 学外エアライン研修

	役割	氏名	所属・役職名	役割分担
事業組織	統括責任	水島 和則	国際コミュニケーション学部	企画・運営マネジメント
		北島 和徳	キャリア支援課長	企画補佐
		尾内 里江	事務職員	企画補佐
		押元 翔馬	事務職員	企画補佐

1. 事業開始の背景・経緯や目的等 (200字～300字程度で記述)

学内で行う、「エアラインガイダンス」や「SUGIYAMA エアラインシンポジウム」により得た知識等をふまえ、空港や航空会社へ足を運び、施設見学や実際に業務に従事している方々と交流することにより、航空業界・職業への理解を深めることを目的とする。

本学で客室乗務員、グラウンドスタッフ等を目指す学生にとって、卒業後の具体的なキャリアを考え、現在自身が何をすべきかを考える貴重な機会となる。

2. 事業方法(特色・独創性)等 (300字程度で記述)

本研修は、航空業界で活躍する本学の卒業生や各企業との信頼関係が構築されている中で実現が可能となる企画であり、一般では見学ができない施設への立入りや、OG・企業の担当者からの生の声を聴くことができることが、この事業の特色である。

コロナを経て一時は航空業界への就職は落ち込んだものの、昨年度より復調。毎年、航空業界への就職希望者が一定数見込まれる本学の状況において、本研修はキャリア教育の一環として、学生の就業観を高める一助となることが期待でき、学生自身がこれからの大学生活をいかに過ごしていくかを考えるヒントを与えることができると考える。

本研修に参加するためには、事前指導へ出席することが必須で、学生自身が本研修への参加目的や意義を考える機会を設けることができ、より深い業界理解・職業理解へとつなげることができる。

3. 事業の成果 (600字～800字程度で記述)

今回学外エアライン研修に参加をした学生に対して行ったアンケートにおいて、「あなたの今後の職業選択の参考になりましたか？」という問いに全員が「大変参考になった」と回答している。このことから、本プログラムの目的である「航空業界・職業への理解を深めること」を達成することができたと考える。

また「今まで実際に働いている職員の方からお話を聞く機会がなかったので、仕事内容や就職について詳しく聞くことができて良かったです。お仕事について想像しやすくなり、より航空業界について興味が深まりました。」「数ある航空会社の中で現役社員の方からのリアルなお話を伺うことができるのは大変貴重であり、今後の就職活動を進めるにあたって意義深いものとなりました。」「私は航空業界に興味を持っているが、まだ自分のやりたいことを明確に見つけることが出来ていない。そのため、少しでも興味のある業界の職場に足を運び、働いている人の声を聞くことが出来、大変参考となった。」「自分で企業研究をするだけでは、知り得ないような、FDAさんの職員さんのお話や、航空ミュージアムでの飛行機の説明でより一層この業界への理解が深まったから。」というアンケートへの回答があり、学生の就業観を高める一助となったことが確認できた。

また、参加した学生は、お礼状という形で、本研修で学んだことや、考え方の変化などを文章にすることにより、自分自身で振り返りを行うとともに、今後のキャリアを考える機会とすることができている。

今年度は、A社での研修において、駐機中のFDA航空機のコックピットに座りパイロットによる説明を受けることができた。これは、毎年本プログラムを開催していることによる本学と企業との信頼関係の構築があったからこそ実現したといえる。

上記のように、実際に現場を見て、関係者と話さなければ得ることのできない知識、経験を吸収できることが本事業の意義であり、今年度もその目的を達成できたと考える。

4. キーワード (本事業のキーワードを1つ以上8つ以内で記載)

①航空業界の理解	②職業への理解	③キャリア意識醸成	④現場体験
⑤	⑥	⑦	⑧

5. 事業の達成状況及び今後の課題 (事業の達成状況を踏まえて、課題、反省点、及び今後の取組みを具体的に記載すること。)

今年度は1日のみ(日帰り)で2社の企業(A社及びB社)の協力を得て実施した。大きなトラブルや事故もなく、学生9名が参加をし(当初10名が参加予定だったがうち1名が当日高熱で欠席)、プログラムを遂行することができた。

A社での駐機中の航空機見学は、普段一般人が入ることのできない場所であり、プログラムの内容向上を図ることができた。

成果でも報告した通り、本研修は「本学と企業との信頼関係の構築があったからこそ」実現できている。今後も卒業生や、卒業生の所属する企業とのつながりを大切にし、在学生へ航空業界・職業への理解を深めていきたい。